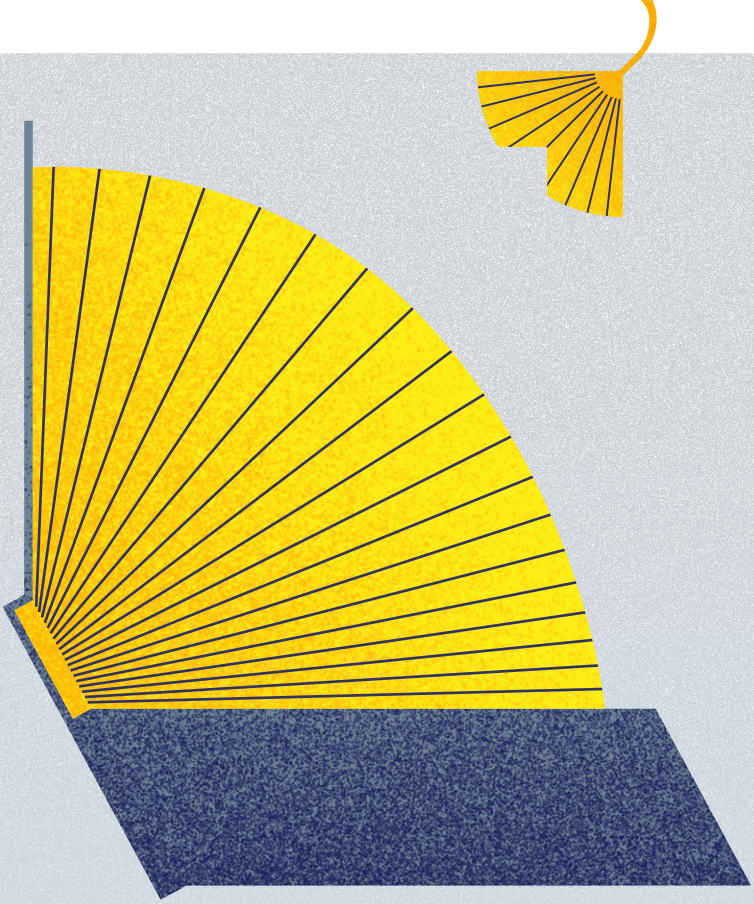
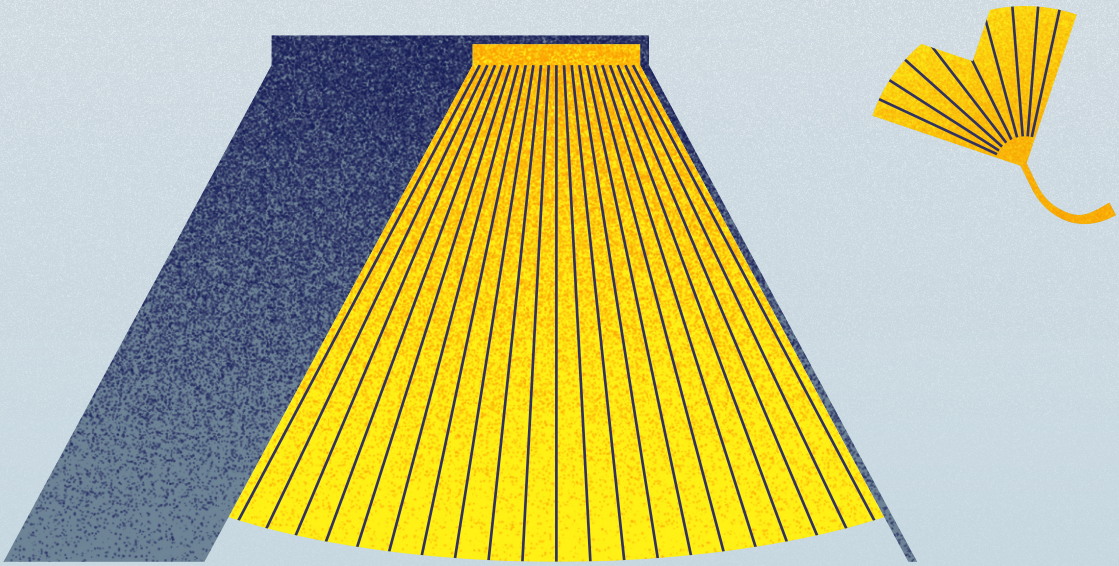
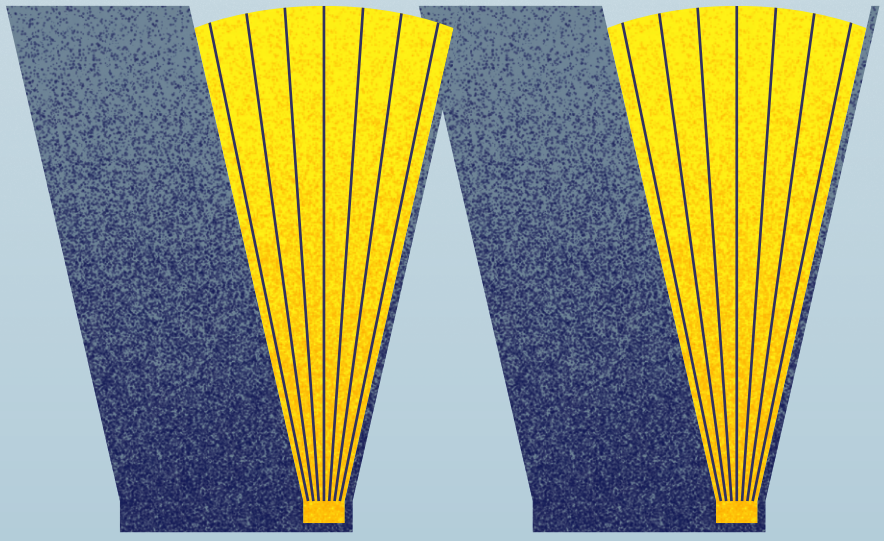


北海道大学
法学部
2024

School of Law
HOKKAIDO UNIVERSITY





HOKKAIDO UNIVERSITY
FOUNDED 1876

北海道大学法学部へようこそ

ルールを知る。
ルールを問う。
ルールを造る。
社会の基礎を探り、
未来を構想する。

ごあいさつ

北海道大学法学部で法学・政治学を学ぶということ。これは三重の意味で得難い経験となるでしょう。

第１に、「北海道」で学ぶことの魅力です。「北の大地」北海道、なかでも札幌は近代日本において他の地域とは異なる文化を育んできました。旧来の権力から自由で開放的な社会は、自然環境の魅力と相俟って、多様な出自の人々を優しく受け入れてきました。そのような場所で学生時代を過ごすことは深い栄養となって心身を陶冶してくれることでしょう。

第２に、「北海道大学」で学ぶことの意義です。「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」、「実学の重視」を建学の理念とする北大は、それら理念をただ墨守するのではなく、むしろ自省的に吟味しながら、時代の要請に応える研究教育を行ってきました。多くの学部があり、専門の壁を超えた活発な議論が日々行われています。そのようなコミュニケーションのネットワークの一員となることで大きな知的刺激を得ることができます。

第３に、「法学・政治学」を学修することの意味です。古代ギリシャ、古代ローマ、あるいは古代中国にまで遡る、人類の叡智の結晶が法学・政治学です。人と人とのさまざまな利害や価値観の対立を調整し、一人ひとりが幸せを実感できる社会を築くことがその究極の目標です。よりよい社会を実現するための法制度・政治制度を構築し、運用し、評価することで、グローバルな視点から広く社会に貢献できる豊かな人材は、どこの国の出身であれ、必ず法学・政治学の訓練を受けています。

このような利点に満ちた北海道大学法学部で学んだ先輩たちの多くが有為な人材として世界へ羽ばたいて行きました。皆さんがそれに続くことを期待しています。

北海道大学 法学部長
尾﨑 一郎

北大法学部の魅力

1 大らかさと多様性

日本で初めて学士号を授与した教育機関・札幌農学校を前身とする北海道大学。法学部は1947年の創立以来、大らかで自由な校風で知られています。多文化共生・スラブ世界との交流 ── 多様性あふれる北海道の大地で、全国・全世界から集まる学生たちが新しい文化や価値観を発信しています。

2 自然豊かな都心のキャンパス

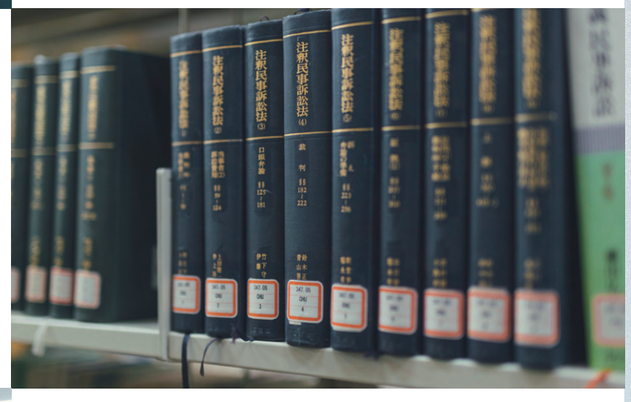
JR札幌駅からほど近く、東京オリンピック2020のマラソン会場になった広大な美しいキャンパスで有名です。桜・ポプラ・イチョウ、市民と動物の憩いの場ともなる緑の芝生、小川のせせらぎ、そして白銀の世界。四季の色彩豊かなキャンパスライフは生涯の思い出になるでしょう。

3 教員との距離の近さ

学部定員200名に対して約70名の教員が指導に当たります。授業でわからないことがあっても、教員に気軽に質問できる環境があります。

4 充実のリサーチ環境

国内有数の約380万冊の蔵書を誇る北海道大学附属図書館のほか、法学部の法学・政治学資料センターには、国内外の最新の法学・政治学に関する学術雑誌や判例集などがそろっています。豊富なデータベースや電子ジャーナルには、自宅からもアクセスできます。



5 自習室・ミーティングルーム

附属図書館の自習スペースのほかに、法学部専用の自習室・ミーティングルームもあり、毎日夜遅くまで、学生たちが熱心に勉強に励んでいます。

北大法学部に入るには

入試形態		日程		募集人数
一般選抜	学部別入試	前期日程	2月25日	140人
		後期日程	3月12日	40人
	総合入試文系	前期日程	2月25日	95人（法学部への移行定員20人）
		国際総合入試	11月19日	5人

※このほかに、私費外国人留学生入試、帰国生徒選抜があります。

詳細はこちら
［北海道大学］
↓
［入学案内］

https://www.hokudai.ac.jp/admission/

経済面からのサポート

経済的に修学が困難な学生には、さまざまな経済的援助の制度があります。北海道大学で扱う奨学金は、日本学生支援機構、民間・地方治体等の奨学団体の奨学金があります。また、入学料・授業料の減免または徴収猶予の措置があります。

入学料・授業料

［北海道大学］→［学生生活］→［各種手続き・証明書］→［入学料・授業料］
https://www.hokudai.ac.jp/gakusei/campus-life/certificates/tuition.html

奨学金

［北海道大学］→［学生生活］→［各種手続き・証明書］→［入学料・授業料］→［奨学金］
https://www.hokudai.ac.jp/gakusei/campus-life/certificates/bursary.html

法学部で学ぶこと

法学部で学ぶことは、ルールを知り、それをどう使うかだけではありません。今あるルールを疑い、新たなルールを造ることも必要です。よりよい社会の実現のためにどんなルールが必要かを考えるには、社会の状況を知り、政治学、社会学、哲学・思想、歴史などの知見を総動員することが求められます。法学部の授業は６つの分野に大別されます。

民事法

私人間の関係を法でどう規律するか

A会社は、B会社の運営するブランド名（CHANEL）がプリントされた素敵なデザインの洋服を仕入れるために、C会社から20着購入することにして代金を支払った。しかし、C会社から納品された洋服は、B会社が作っている洋服とデザインは同じだったが、微妙に異なるブランド名（CHANNEL）がプリントされたニセモノだった。

- 民法
- 商法
- 民事訴訟法
- 国際私法
- 知的財産法

A会社には、ニセモノを納品したC会社に対して、どのような請求をする権利があるのでしょうか（民法）。会社同士の取引には、個人同士の取引とはちがう特別なルールはあるのでしょうか（商法）。また、B会社には、ニセモノの服を販売するC会社に対して、どのような請求をする権利があるのでしょうか（知的財産法）。B会社がC会社に請求できるとして、言っただけではC会社が請求に応じない場合は、どのようにすれば強制的に権利を実現してもらえるでしょうか（民事訴訟法）。C会社が外国の会社である場合は、何か違いが生じるのでしょうか（国際私法）。民事法は、場面に応じて、人々の間にどのような権利・義務があり、これらをどのようにして実現するのかについて、どのようなルールが適切なのかを考える法分野です。

社会法

社会的弱者や市場秩序を法でどう守るか

①アルバイト先で残業したのに賃金が支払われない。どうすればいいだろうか。
②国民年金の案内が来た。保険料は払わなければならないのだろうか。
③A社のBというゲームソフトは、どの店でも同じ値段だ。おかしくないだろうか。

- 労働法
- 社会保障法
- 経済法

社会法は、民事法や公法に比べるとかなり遅れて登場した法分野です。対等な当事者関係にあることを前提としていては解決できない社会問題に対応するための法領域ということもできます。

多くの人は労働者として、企業で働きます。では、企業は労働者に長時間の就労を求めたり、企業の都合で一方的に労働者を解雇することができるでしょうか。解雇されたり、定年退職した場合の生活費はどのように確保されるのでしょうか。また、生活に不可欠な商品やサービスを不当に高く買わなければならないとしたら、どうなるでしょうか。このように、社会法は日常生活に密接に関わる出来事を扱います。身近な「生活」という視点から社会・世界を分析検討する営みが、社会法の醍醐味といえます。

刑事法

罪を犯した人を法でどう処罰するか

AがBをピストルで射殺したという事件が発生した場合、Aには当然に殺人罪が成立するのだろうか？
事件の発生後、Aの刑事責任が裁判で決定されるまでに、どのようなプロセスが待っているのだろうか？
Aが刑事施設に入ることになった場合、再犯を防ぐにはAをどのように処遇すればよいのだろうか？

- 刑法
- 刑事訴訟法
- 刑事政策

刑法では、「犯罪とは何か」、「犯罪行為と、犯罪ではない行為はどのように区別されるのか」、「刑罰はなぜ科せられるのか」といった、本質的な問題について検討します。また、実際に犯罪が発生した場合に、どのような手続で捜査し、犯人を起訴し、そして裁判を進めて有罪・無罪を決定するかを考えるのが、刑事訴訟法です。さらに、有罪が決定した場合に、その人が犯罪を繰り返さないようにするためにはどのような処遇がなされるべきかを、隣接諸科学の知見をも参考にしながら考察するのが、刑事政策です。

このように、刑事法学では、3つの領域を有機的に関連づけながら、そして常に現実を直視しつつ「犯罪」と「刑罰」を深く追究します。

公法

公権力や国際関係を法でどう規律するか

Aは、日本の公立高校で成績抜群の2年生（17歳）。外国籍の両親から日本で生まれ、外国へ行ったことはない。両親は、就労ビザが切れた後も日本で働いていた。一家は非正規滞在を理由に、両親の本国に強制送還されそうである。Aは北大法学部に進学したい。日本に残ることができるか？

- 憲法
- 行政法
- 国際法

現代では、国家権力をどう捉え、いかに規律するかということは大きな課題です。法学部では、国家と市民の関係を扱う憲法と行政法、国家間の関係を扱う国際法を学び、これに迫ります。憲法は、国家の最高法規であり、国家の権力を縛ります。行政法は、とくに行政権に着目し、行政と市民の関係にかかわる法律群をカバーします。国際法は、他国との関係で国家権力を制約します。

上の例では、憲法の観点からは幸福追求権や外国人の人権保障、行政法では、たとえば出入国管理法の下で外国人の退去強制を決める法務大臣の裁量の範囲など、国際法では、社会権規約（家族の保護）、自由権規約(同)、子どもの権利条約（子どもの利益の優先、父母からの分離の禁止）の適用などについて、議論されます。

政治学

法、制度、公共政策をどう創造するか

政権交代や政策転換など、政治の変化はなぜ起こるのか。超高齢化、グローバル化、気候変動問題の拡大の中で、我々の未来はどうなるのか。
従来の国際秩序が揺らぐ中、世界はいかに変化するのか。自由、格差とは何か。
こうした多岐にわたる問いに対し、政治を学ぶことがどう役立つのか。

- 政治学
- 行政学
- 国際政治
- 政治史
- 政治思想史

政治学は、エネルギー、食糧、資金、軍事力など様々な資源の配分をめぐる対立がなぜ起こり、それをいかに克服するかを探究する学問です。世界や国内の政治問題が日々報道される中、現状を理解し、将来を左右するシグナルを見抜く眼力を養うには、単に情報を積み上げるだけでは十分とはいえません。歴史や思想を学び、その基盤の上に現象を分析的に見るための視角を身につけることによって、今日の世界と日本が抱えるさまざまな問題への処方箋を描き、法律や政策に組み上げていくことが可能となります。

政治学は過去と未来とを結ぶタイムトラベラーであり、そこに時間を超えた探究の醍醐味が存在します。

基礎法学

法自体にどのような意義や価値があるか

私たちを取り巻いている近代以来の法制度は、何を目的とし、どのように組み立てられて来たのか？
人々の自由や平等は、どのように保障されているか？
人々はそれをどう活かしているか？
その保障は近代以前の時からどのように変化したのか？
そしてさまざまな社会に応じてどう異なるのか？

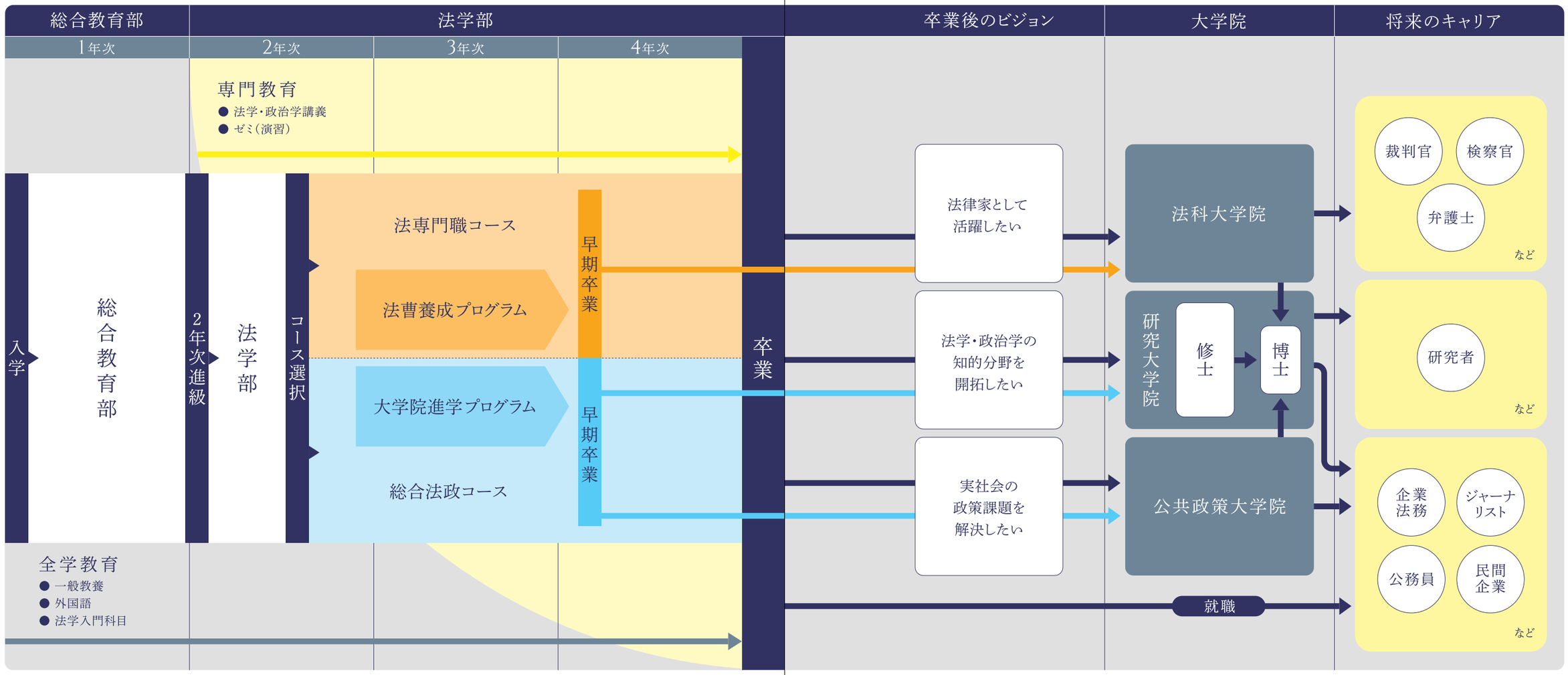
- 法哲学
- 法社会学
- 法史学
- 比較法
- 法と経済学

社会における人間の活動は政治、経済、文化など多岐にわたり、法はそのすみずみまで関わって、私たちの生活を支え、保障しています。法律ばかりでなく、慣習や社会通念、公共道徳などもそこには働き、その担い手も法曹のみならず、政府や企業、市民団体、法学者、そして法学を学ぶ皆さんや一般市民とさまざまです。個人の自由と人々の平等は近代以来の法の基本価値であり、法はその実現のために組み立てられ、運用されるべきものです。しかし、自由と平等は相反することもあり、それをどう調整するか、法はその解決の試みの積み重ねと言えるでしょう。そして、そこには法の歴史があり、また、さまざまな社会で異なる法が組み立てられて、人々の権利や利益が守られているのです。このように、思想、社会、歴史、比較などの幅広い視野から法そのものの意義と価値を考えるのが基礎法学です。

入学後のイメージ

北海道大学に入学すると、全員が総合教育部に所属し、幅広い教養や外国語を学んで視野を広げるとともに、法学・政治学の入門科目を学びます。

2年次から法学部に所属し、専門科目を中心に履修します。2年次第2学期からは、法専門職コースと総合法政コースのいずれかを選択し、それぞれの関心・進路に応じた専門学修を深めます。総合入試文系で入学した学生も、20名が1年次終了後に法学部へ移行し、2年次から法学部に所属します。



法専門職コース

基本的な法律についてより重点的に学習し、法律知識を前提とした専門的な職業に就くことを目指すスペシャリスト養成コースです。

こんな人におすすめです

- 法曹（裁判官・検察官・弁護士）
- 司法書士
- 弁理士

そんな将来を志す人に

総合法政コース

社会の多様な分野で活躍することを目指し、その前提となる法的素養と政策判断能力、さらには幅広い視野と国際感覚を身につけたジェネラリスト養成コースです。

こんな人におすすめです

- 公務員
- 外交官
- 国際機関職員
- 民間企業
- ジャーナリスト
- 政治家
- 法学政治学研究者

そんな将来を志す人に

法学部生の学習スケジュール

1年次

北海道 北見北斗高等学校 出身　**黒瀧 大介**さん

“教養・外国語や法学の入門科目を学びます”

１年次は総合教育部に所属し、法学部専門科目への準備から、語学、理数科目まで、教養を深めます。選択必修などの一定の枠はありますが、基本的に自分の関心に応じて自由に授業を履修できます。高校での学習に比べると、１つの答えのない問題について自分なりに考えたり、自ら題材を探したりと主体性が強く求められます。大学では、学修との両立を心掛ければ、部活動やアルバイトに取り組むか否かや、趣味にかける時間を多くとるなど、自分の生活を自由に設計できます。法律やその他の科目を「自分らしく」学べることが、総合教育部の魅力です。

時間割例

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1				フランス語演習	法学入門I
2	フランス語I			政治学入門	
3		英語演習			英語II
4	英語I		法学入門III	フランス語I	情報学I
5	微生物利用のあれこれ	フレッシュマンセミナー		体育学B	

Schedule
一人暮らしデビューの一日

07:30	起床	
08:30	登校	夏は自転車 冬は徒歩
08:45	午前の授業	
12:00	昼休み	自炊しに一度帰ります
13:00	午後の授業	
18:30	帰宅	ネットやテレビでニュースを見るのが日課
19:30	自習、自由	
23:00	就寝	寝る前に第2外国語上達のためにフランス語の歌を聴いていました

2年次

北海道 函館中部高等学校 出身　**能登谷 結衣**さん

“専門科目とゼミ(演習)が本格的にスタートします”

法学部では、実定法学、基礎法学、政治学など、自分の興味に応じたさまざまな分野を学べます。各分野に独自の視点や考え方があり、面白いです。また、２年次から履修できるゼミ（演習）では、判例報告やレジュメ作成の仕方を学ぶことができたり、一緒に勉強会を開くような友人に出会えたりするなど、学びを深めるための好機を多く得られます。私は、「北大金葉祭」という、構内のいちょう並木のライトアップなどを行う秋祭りの実行委員会の代表を務めました。学生や地域の人々に親しまれている北大キャンパスの魅力を実感でき、充実した学生生活を送っています。

時間割例

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1					
2	民法II	アメリカ政治史	商法I		刑法II
3	商法I		刑法II	法社会学	アメリカ政治史
4	法社会学		民法II		
5	法律実務特講		演習I		

Schedule
金葉祭直前の一日

07:00	起床	
08:00	登校	自転車
08:45	自習	
10:30	午前の授業	
12:00	昼休み	学食またはお弁当持参で友達とランチ♪
13:00	午後の授業	
18:00	金葉祭の準備	
21:00	帰宅	実行委員会の仲間と打ち合わせ そのまま仲間たちと食事に行くことも
22:00	自由時間	
24:00	就寝	1人カラオケでフルートの練習

3年次 総合法政コース

東京都 跡見学園中学校高等学校 出身　**牧 桜子**さん

“法学・政治学を複合的に学んで視野を広げます”

自分の興味に合わせて履修する科目を自由に選べることが、総合法政コースの魅力です。国際経済法で通商政策のモデルを学び、中国政治で人権問題を学ぶ。── 一見関係なさそうな問題のつながりが自分なりに見えてきたときに、世界が広がった気がしました。課外活動としては、北大祭実行委員として留学生の参加団体への通訳活動をしたり、留学生主催の環境系NGOのボランティアとして高校での啓蒙活動のサポートをしたりしました。また、３年次の１月のフランス留学への出発直前まで、英語力を生かしてアメリカ領事館のインターンシップに参加し、充実した日々を過ごしていました。

時間割例

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1	アジア政治史	文化人類学概論			日本政治史
2	国際経済法	国際法II		フランス語演習	
3	法と経済学I	政治学	日本政治史	国際法II	政治学
4	西洋言語学演習	外国語応用演習	法哲学		法哲学
5			西洋言語学演習		演習II

Schedule
フランス留学前の一日

07:00	起床	
08:30	登校	すきま時間にアプリでフランス語学習
08:45	午前の授業	
12:00	昼休み	イタリア人の友達とジムで筋トレ
13:00	午後の授業	
16:30	自習	中国人のゼミ仲間と夕食に行くことも
18:30	サークル活動	
20:00	帰宅	フランス語で日記をつけていました
24:00	就寝	

3年次 法専門職コース

奈良県 クラーク記念国際高等学校 出身　**泊 直希**さん

“法曹への志をともにする仲間と切磋琢磨しています”

私は、法科大学院に進学していち早く法曹として社会に出たいという思いから、早期卒業を目指して法専門職コースを選択しました。このコースは、法科大学院に直結する法律系科目を重点的に学習できる魅力があります。また、法学部のゼミの多くは半年ごとに開講されているので、選択肢が広く、多くのゼミを履修することができます。ゼミでは、多くの仲間や先生方との討論や判例研究を通じて、多様な考え方に触れることができます。部活動では、アーチェリー部の主将を務め、学部や大学の垣根を超えた仲間たちと日々充実した生活を送っています。

時間割例

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1	労働法	行政法I	商法II	民法III	
2		国際法II	労働法	行政法I	民事訴訟法I
3	民法III			国際法II	
4	商法II	民事訴訟法I	法哲学		法哲学
5			演習II		

Schedule
部活動のある一日

07:30	起床	
08:30	登校	自転車
08:45	午前の授業	
12:00	昼休み	学食
13:00	午後の授業	
14:30	自習	図書館で復習をしたり友人と勉強会
16:30	アーチェリー部の練習	
20:00	帰宅	部活の仲間と夜ご飯
21:00	自習、自由時間	
24:00	就寝	受験勉強 テレビでお笑いなどを観て息抜きも

法学部のゼミ（演習）

ゼミとは？

ゼミとは、少人数の学生の討論や調査・報告を中心とした授業（演習）のことです。学生が事前に調査・研究したことを報告し、その報告内容について全員で議論をしたり、みんなで文献を読んで討論したりします。英語を使って世界の大学と討論するゼミもあります。大教室で行われる講義とは異なり、学生にはより積極的・主体的な学習姿勢が求められます。

北海道大学法学部では、ゼミ（演習）の履修は必修です。入門編の２年次向けには通常の講義と同じ90分、応用編の３・４年次向けには、じっくりと議論を深められるように１.５倍の135分のゼミが提供されています。

ゼミのテーマも進め方も、科目や教員によってさまざまです。ゼミには教員と学生が作り出す独自のカラーがあり、ゼミは法学部の文化そのものです。

ゼミのメリット

1 少人数での議論を通じた人間づきあいの場

最大20名程度の少人数制。教員と学生そして学生同士の距離がとても近く、白熱した議論を通じて、生涯の友人と出会う場でもあります。合宿やフィールドワークを行うこともあります。

2 深化した学習で学問を追求

１つのテーマを掘り下げることにより、講義で学んだ知識を定着させ、応用可能なものにしていきます。学問そのものの面白さを感じたり、純粋な知的好奇心を追求したりできるのが醍醐味です。

3 プレゼン能力・対話スキルを育む

議論を充実させるには、報告者は、他の参加者にわかりやすく説明しなければならず、他の参加者も、報告内容や他者の話をよく理解して、自分の意見を論理的に述べなければなりません。異なる立場や意見の人との対話スキルが高まります。

ゼミ紹介

民事法ゼミ

山木戸 勇一郎 教授

年度によって取り扱う内容は異なりますが、民事訴訟法・執行法・倒産法などの手続法およびこれに関連する実体法の重要な単元に関する判例を検討することを通じて、民事法の重要事項について基本事項の正確な理解と応用事項の思考力の養成を目指しています。また、手続法に関する教科書的な理解をさらに深めるために、教材用の民事事件記録を用いて、裁判所・原告訴訟代理人・被告訴訟代理人に役割分担をして、模擬法廷を行うこともあります。例年、法曹実務家を目指している学生が圧倒的に多いですが、法学研究者を目指している学生や法律関係の公務員や資格取得を目指している学生、民間企業への就職を目指している学生もいます。

Student's Voice

法律は抽象的な議論が多く、なかなかイメージがわきにくい学問だと思われますが、ゼミで事例に触れながら議論し合うことによって、民事法が世の中でどのように運用されているのかがイメージしやすくなります。

憲法ゼミ

佐々木 雅寿 教授

日本国憲法の解釈に１つの正しい答えがあるとは限りません。ですから、このゼミは、1つの正しい答えを見つける場ではなく、さまざまな意見にふれた後、自分自身の考えをまとめるための場です。とはいっても、憲法の解釈は自由に行うものではなく、議論の立て方には一定の枠組みがあり、その枠組みは主に判例と学説によって作られています。そのため、このゼミでは、憲法の主要な論点について、議論の枠組み（問題のとらえ方、判例、学説）を理解し、他のゼミ生との議論をふまえて、自分の考えを整理すること、つまり、検討すべき事項をすべて考慮に入れて自分の頭で考えることが求められます。そして、法的な議論には、理由と結論の両方に明快さと説得力が要請されます。

Student's Voice

各回の担当者は、興味のあるテーマに関する判例や学説、論点を整理して発表します。複数の判例を精読することで、裁判官の考え方を理解しやすくなり、また、先生や他のゼミ生と刺激のある議論ができるのが魅力だと思います。

政治思想史ゼミ

眞壁 仁 教授

「北大政治学」の特徴は、歴史と思想を重視していることにあります。現代社会は積み重ねられたそれ以前の経験をもとに成り立ち、政治思想における概念や世界観など、私たちの知識は歴史に制約されています。しかし他方で歴史は、私たちの想像力や創造性の源泉です。政治思想史のゼミでは、政治学の古典的テクストの精読をとおして、①作者がその作品で応えようとした課題はなにか、②その処方箋は当時の政治社会でどのような意義をもっていたのか、③その後の歴史展開のなかでそれはいかに解釈されてきたのか、さらに④そのテクストの問題設定と内容は、現代社会に生きる私たちにとっていかなる思想的な示唆を含んでいるかを考えます。

Student's Voice

各回の担当者には、文面をなぞる要約ではなく、各種の論点を見つけ、事前にいくつかの問いを発することが課されます。それらをもとに討論形式で進められるゼミでは、先生を含めて出席者全員に、テクストの読みの深さが問われます。

交渉ゼミ

会沢 恒 教授

「交渉」ゼミと通称される当ゼミ。我々が参加している大学対抗交渉コンペティションでは、実際のビジネスを基にした架空の国際取引を題材として、模擬仲裁と模擬交渉が行われます。この大会は、全国の有力大学に加え海外からも参加校があり、実務法曹や企業法務担当者など、実務の第一線で活躍されている方がジャッジを務める本格的な大会です。普段のゼミ活動では、大会入賞を目指し、ビジネス上のトラブルをどう法律論に組み立てていくかと、双方に望ましい帰結を目指しどう提案して協力していくかについて、実際にやってみて、文字通り「身につける」ための実践的な課題に取り組んでいます。大学での勉強が卒業後の生活・人生にどうつながっていくかのヒントが、当ゼミにはあります。

Student's Voice

仲裁では、自分が企業の代表者として意見を述べるときの緊張感、交渉では、新しいプロジェクトを始動させるときのワクワク感が印象に残っています。法律を実際に〈使う〉という思考回路は、交渉ゼミだからこそ得られるものだと感じています。

北大法学部の教員

北海道大学法学部・大学院法学研究科には、
およそ70名の教員が在籍しています。

北大法学部・法学研究科に所属する
各教員については、こちらをご覧ください。
https://www.juris.hokudai.ac.jp/general/staff.html

国際政治経済学

Pick up!

土井 翔平 准教授

なぜ国家は争うのでしょうか。どうすれば国家は協力し合えるのでしょうか。私はこうした問題関心のもと、経済と安全保障に焦点を当てつつ研究をしています。

国家間の貿易や投資は互いに経済成長を刺激し、win-winな関係を作ると思われます。しかし、貿易で稼いだ資金で兵器を購入したり、投資によって重要技術が流出したりと、安全保障の面では困ったことも起こります。通商関係は平和をもたらすのか、株式投資は国際問題を解決するのかといった問いについて、数学やデータを用いて分析をしています。

法学部なのに数学やデータ？と思われるかもしれません。学問は知の総合格闘技のようなもので、使えるものは何でも使うものだと思っています。政治学と言っても、哲学や歴史学、経済学、社会学、心理学などなどさまざまな学問が登場してきます（数学をやらないといけないわけではないので安心してください）。大学での学びは皆さんの想像を越えた、懐の深い、知的好奇心を満たすものでしょう。北大法学部もまた多様な学びの機会を提供する場でありますので、ぜひ楽しみにしていてください。

略歴

2013年京都大学法学部卒業、2019年京都大学大学院法学研究科博士後期課程修了、博士（法学）。国立情報学研究所特任研究員、日本学術振興会特別研究員（PD）などを経て、2020年より北海道大学大学院法学研究科准教授、2022年より大学院公共政策学連携研究部准教授。

北大法学部×SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

環境問題と持続可能な資源管理を、
北海道で考える

国際法

児矢野 マリ 教授

略歴

1989年東京大学法学部卒業、1991年英国ケンブリッジ大学LL.M課程修了。東京大学法学部助手、（文部省）学位授与機構審査研究部助教授、静岡県立大学国際関係学部助教授などを経て、2008年より北海道大学大学院法学研究科教授。

世界はグローバル化し、環境問題や資源・エネルギー問題は複雑になっています。その解決のためには、国際法と国内法、法と政策、社会科学と自然科学が一丸となり答えを見つけなければなりません。例えば、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）報告書をふまえ、国連気候変動枠組条約・パリ協定を、日本社会の法と政策でいかに受けとめて脱炭素を推進するか。また、持続可能な漁業の実現のため、国連海洋法条約や多くの漁業条約に、漁業・魚食大国の日本はいかに関わっていくのか。北大法学部を拠点に、全国の法学（国際法・国内法）・政治学（国際関係論・海洋ガバナンス論）と生態学・水産科学などの研究者が協働し、海外の研究機関と連携しながら、文理融合の学際研究を進めています。人類の将来のため、法学・政治学の役割を一緒に考えましょう。

民法

曽野 裕夫 教授

人が生きていくためには、食糧の持続的な確保が欠かせません。グローバル化した経済のなかで、「誰一人取り残さない」ように食糧を供給することは人類規模の課題です。そこで法学部と農学部の研究者からなる私たちの学際的研究グループが取り組んでいるのは、農業の担い手と農地をどう確保するか、食品の安全・品質についての認証基準はどうあるべきか、ブランド（例えば、夕張メロン）を保護するために知的財産権をどう活用すればよいか、巨大企業による「種子の支配」にどう対応すべきかなどの問題です。農業を持続可能なものとするために、どのような法制度が効果的かつ公平なのか。日本の食糧基地ともいわれる北海道でこそ、考えるにふさわしい課題だと思いませんか。

略歴

1987年北海道大学法学部卒業、1994年北海道大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。金沢大学法学部助教授、九州大学法学部助教授などを経て、2004年より北海道大学大学院法学研究科教授。

世界との交流

北大・北大法学部の主な国際交流協定校

フィンランド
- ヘルシンキ大学

ドイツ
- ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン

ベルギー
- ルーヴェン・カトリック大学

フランス
- パリ政治学院
- ポワチエ大学

中国
- 北京大学
- 清華大学
- 西南政法大学
- 長春理工大学

韓国
- 済州大学

日本
- 北海道大学

台湾
- 国立台湾大学
- 国立政治大学

カナダ
- アルバータ大学

アメリカ
- ウィスコンシン大学マディソン校
- オハイオ州立大学
- オクラホマ大学
- ハワイ大学マノア校

Finland

フィンランドへ留学体験
ヘルシンキ大学
伴野 有里さん

社会にさまざまな形で存在する不平等について、法学・政治学・教育学の視点から学びました。授業外でフィンランド人の友人と生活・政治・教育・ジェンダー平等など多くのトピックを議論したことも、現地に留学したからこそできた経験でした。海外生活を経験して、情報収集能力も向上し、将来の進路の選択肢が大きく広がりました。

Belgium

ベルギーへ留学体験
ルーヴェン・カトリック大学
山本 美友さん

EU（欧州連合）の法政策に興味があったため、EU機関が集まっており、ヨーロッパの中心に位置しているベルギーの大学を選びました。ベルギーでは、さまざまな国からの留学生と交流することで、多様な文化や価値観を知ることができました。授業でも学生が先生に質問をする場面が多く、知的好奇心が刺激される環境でした。

U.S.A

アメリカへ留学体験
オクラホマ大学

宇宙航空研究開発機構（JAXA）所属

2018年卒業生
土屋 早希さん

学生時代は授業とテニス部の活動に追われる日々でしたが、3年次後期から1年間、交換留学生としてアメリカのオクラホマ大学で学びました。最初は言葉の壁を感じましたが、積極的に人と関わることで、いつの間にか環境にも慣れ、友人もたくさんできました。

留学中、多様な文化に触れる中で日本の魅力を再認識し、日本を海外に伝える仕事がしたいと思うようになりました。フロリダのケネディ宇宙センターを訪れた際、日本の国旗が掲げられているのを見て誇りに思いました。それもきっかけとなりJAXAに入りました。

2年間東京で法務の仕事を経験し、現在は種子島宇宙センターで、ロケット打ち上げなどの広報に携わっています。将来は海外機関との国際協力プロジェクトに関わりたいと思っています。

China

中国からの留学生
北海道大学
黄 チン棟さん

日本に来たばかりの頃は、刑法を中心に学びたいと思っていましたが、北大に入学後、留学生向けの授業で丸山眞男著『日本の思想』を読み、近代史の思想的背景に興味を持つようになりました。2年次からは、西洋政治思想史のゼミに参加しています。自分の興味のあることについて学ぶことができ、とても充実した大学生活を送っています。

交換留学制度

北海道大学法学部では、世界5カ国・10校と学生交流協定を結んでいます。このほか、北海道大学として51カ国・地域の201機関と大学間交流協定を結んでいます（2023年3月現在）。学生は、学内選考を経て、これらの協定大学に数カ月から1年間の「交換留学」をすることができます。

海外の協定大学に交換留学として留学する場合には、北海道大学に授業料を納付すればよく、留学先機関への納付は必要ありません。また、留学先の大学で修得した単位は、一定の条件で北海道大学法学部の卒業必要単位として認定されるため、留年せずに卒業することも可能です。

国際感覚を鍛えるプログラム

北海道大学には、全学教育科目として提供される多様な外国語科目に加え、グローバル社会で活躍するために必要なスキルとマインドを身につけるプログラム「新渡戸カレッジ」があります。

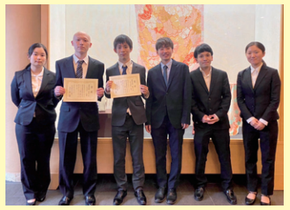
新渡戸カレッジ
https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/

北大生のための留学ガイド
https://www.oia.hokudai.ac.jp/be_global/

CHECK!

世界的な模擬裁判大会に参加

法学部には、法学の専門分野におけるグローバル人材の育成を目指す科目として、国際法や国際商取引法について、ニューヨークや香港で開催される世界的に有名な模擬裁判大会に出場し、上位入賞を目指すためのゼミがあります。これらのゼミでは、法学の専門知識をふまえて、英語での書面の作成やディベートの能力、さらには戦略的対応能力が培われます。



日本・台湾学生交流プログラム

グローバル人材の育成は、英語を使うことだけではありません。法学部には、台湾を訪問し、日本語や中国語を用いた研究会を行い、台湾の法律学系の学生と交流し、台湾の立法・行政・司法機関などの見学を通じて、日本の影響を受けつつ独自の発展を続ける台湾法を学び、東アジアで活躍できる人材を育成する授業があります。

卒業後の進路

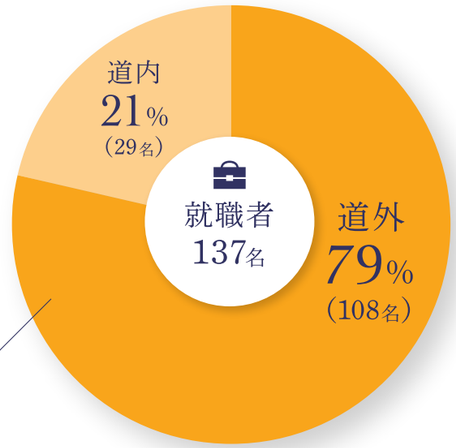
法学部で身につけた専門知識やリーガル・マインドによって、どのような問題に対しても一定のバランス感覚と判断力で解決する能力が養われます。北海道大学法学部を巣立った卒業生は、このような能力を活かして、それぞれの道で活躍しています。

データでみる卒業生の進路

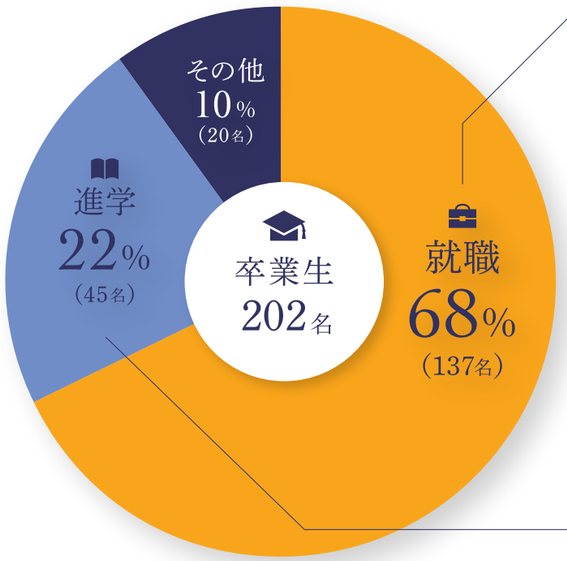
（2023年卒業生）

本学部の卒業後、直ちに就職する人は卒業生全体の７割です。本学部には全国から数多くの学生が集まっていることもあり、卒業生は全国各地で活躍しています。毎年多くの卒業生が、国家公務員（総合職・一般職）試験を経た中央官庁の職員や裁判所の事務官などの国家公務員、各都道府県庁、警察、市町村役場などの地方公務員として活躍しています。民間企業の業種も極めて多岐にわたっています。卒業生の多くが希望に適った業種で社会人としてのスタートを切っており、将来の活躍を期待されています。

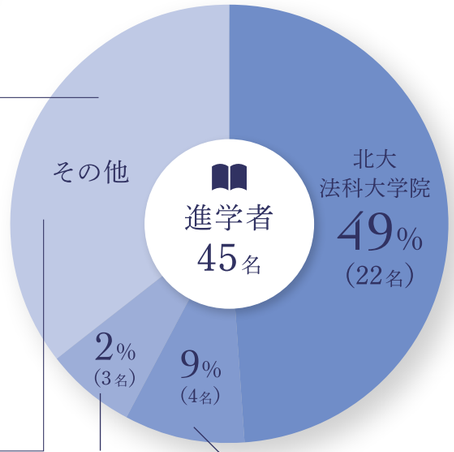
就職先の地域内訳



卒業生全体の進路



進学先の内訳

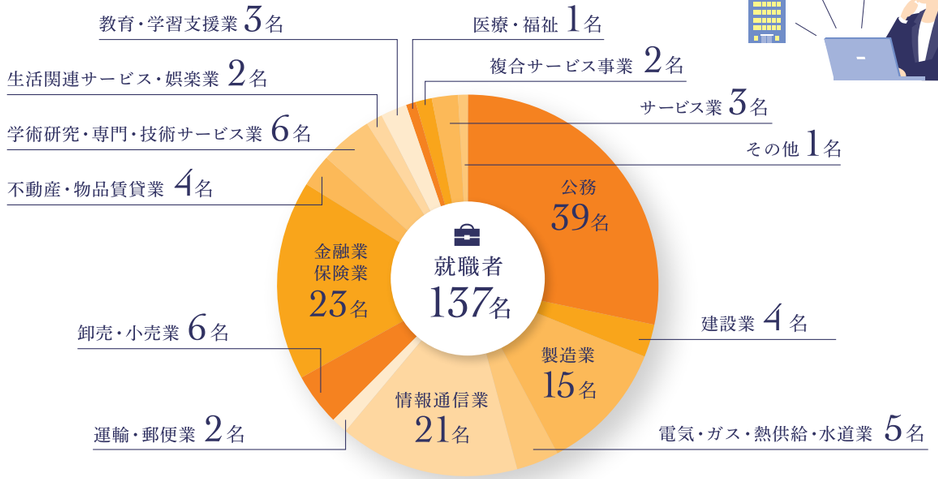


学部で学んだ勉強についてより専門的に深めたい人は、大学院に進みます。大学院に進学する人は、卒業生の２割です。北海道大学の法学・政治学を学ぶ３つの大学院のほか、他大学の大学院に進学する人もいます。

- ●東京大大学院法学政治学研究科
- ●京都大大学院法学研究科
- ●一橋大大学院法学研究科
- ●慶應義塾大大学院法学研究科
- ●中央大大学院法務研究科
- ●航空大学校　など

就職

就職先の業種内訳



近年の主な就職先

● 公務

内閣府、総務省、法務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省、財務省税関、会計検査院、検察庁、国税庁、東京都庁、裁判所、北海道経済産業局、北海道開発局、北海道財務局、札幌市役所、北海道庁、北海道警察、群馬県庁、三重県庁、新潟県庁、村上市役所、豊中市役所

● 製造・建設業

凸版印刷、トヨタ自動車、パナソニック、日立製造所、東芝、旭化成、セイワホールディングス、日本ヒューレットパッカード、日本製鉄、ENEOS、JFEスチール、大林組、竹中工務店、クボタ、島津製作所、大成建設、ソニー、東レ、富士フイルム

● 電気・ガス・熱供給・水道業

北海道電力、北海道ガス、JERA、東京電力ホールディングス

● 情報通信業

楽天、NTTドコモ、NTTコミュニケーションズ、NTTデータ、西日本電信電話、東日本電信電話、日本放送協会、北海道新聞社、博報堂DYメディアパートナーズ、任天堂、スクウェア・エニックス、コナミデジタルエンタテインメント、ジョブカン会計、TIS、TBSスパークル、フューチャー、トランス・コスモス、東急エージェンシー、富士通

● 運輸・郵便業

全日本空輸、商船三井、北海道旅客鉄道、東日本高速道路、日本郵便

● 卸売・小売業

ニトリ、阪和興業、伊藤忠丸紅鉄鋼、三菱商事、ホクレン商事、ゲンキー

● 金融・保険業

北海道銀行、北洋銀行、日本銀行、三菱UFJ信託銀行、日本政策金融公庫、日本政策投資銀行、野村證券、日本生命保険、明治安田生命保険、東京海上日動火災保険、北海道農業共済組合連合会、SMBC日興証券、滋賀銀行、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、りそなホールディングス、大同生命

● 不動産・物品賃貸業

三井不動産リアルティ、セキスイハイム中四国、ビッグ、JA三井リース

● 学術研究・専門・技術サービス業

アクセンチュア、有限責任あずさ監査法人、新エネルギー・産業技術総合開発機構、PwCコンサルティング合同会社、野村総合研究所、三菱総合研究所

● 教育・学習支援業

北海道大学、東京大学、鳥取大学

● その他

日本年金機構、道東あさひ農業協同組合

CHECK! キャリアデザインに応じたサポート

北海道大学全体の取り組み

企業への就職・公務員試験の対策については、北海道大学の全学的就職支援組織である「キャリアセンター」が、全ての北大生をサポートしています。各種の求職情報をオンラインで検索・閲覧できる「就職支援システム」、進路・就職相談、企業・官庁の説明会、面接や試験対策の各種ガイダンス・セミナーなど、きめ細やかな支援が受けられます。

北海道大学は、キャリア教育の一環として、学生が関心のある企業・行政機関に派遣され、数週間、仕事を経験するインターンシップ（就業体験）を支援しています。インターンシップへの参加は、単位として認められるものもあります。

法学部の取り組み

法学部でも、学部主催の就職ガイダンスや、北海道庁・札幌市役所などの協力を得て、学部独自のインターンシップを行っています。

法学部では、将来法曹になることを目指して勉強する学生たちが集まる「北法会」や国家公務員総合職（いわゆるキャリア官僚）を目指す人を支援する「北公会」が、それぞれ公認サークルとして活動しています。

北海道大学キャリアセンター
https://cc.academic.hokudai.ac.jp/

卒業後の進路

進学

北海道大学には、法学・政治学を学ぶことのできる大学院として、
研究大学院、法科大学院、公共政策大学院の３つの大学院があります。

「複眼的専門知」を極める　研究大学院

https://www.juris.hokudai.ac.jp/

学部教育で得た法的知識を専門分野に特化した形で深化させ、
学問の発展に貢献できる高度な専門家人材を
育成することを使命とした大学院です。

修士課程には、研究者を目指し、博士後期課程（3年間）への進学を念頭におき、博士後期課程での本格的研究の準備作業として法と政治を学ぶ「研究者コース」と、学部教育や社会人経験で得られた法学・政治学の知識を深化させ、高度な専門性を備えたジェネラリストを養成する「専修コース」があります。

学位	修士課程２年間で、修了者には「修士（法学）」の学位を、博士課程3年間で、修了者には「博士（法学）」の学位を授与します。
進路	研究者、公務員、企業法務、地域で活躍する団体職員など

法曹を志す人の可能性を拓く　法科大学院

https://www.juris.hokudai.ac.jp/ls/

法曹（裁判官、検察官、弁護士）を志す皆さんが、
司法試験合格のための準備をする専門職大学院です。

法科大学院を修了すると、司法試験の受験資格が認められますが、一定の要件を満たせば法科大学院在学中にも受験資格が与えられます。知識としての法律の基礎を習得するだけでなく、法曹倫理や実際の法律相談あるいは法律事務所での業務内容を体験することもできます。研究者教員だけでなく、実務の現場で活躍している裁判官や検察官そして弁護士などの法曹も授業を担当しています。

学位	通常は3年課程ですが、一定程度の法的素養があると認められた者（法学既修者）は、2年間で修了できます。修了者には「法務博士（専門職）」の学位を授与します。
進路	法曹（裁判官、検察官、弁護士）など

政策プロフェッショナルを育む　公共政策大学院

https://www.hops.hokudai.ac.jp/

北大公共政策大学院（HOPS）は、
「公共政策及び公共サービスに関する
企画、立案、実施、評価等を担う専門家及び職業人」
の養成を目的とする専門職大学院です。

日本の公共政策大学院のなかで唯一、本州の外にあり、日本の「地方」に突き付けられているローカルな公共政策課題を実感できます。中央省庁や政府機関などの実務家も授業を担当し、事例研究や現地調査といった実践的な授業において、リアルな公共政策課題について横断的・体系的に学ぶことができます。

学位	通常２年課程で、修了者には「公共政策学修士（専門職）」の学位を授与します。
進路	公務員、報道関係、金融・コンサルティング系の民間企業など

早期卒業制度

法学部での基礎的な勉強から大学院での専門的な勉強までを
密度濃く進めたい人のために、早期卒業制度があります。
法曹養成プログラムまたは大学院進学プログラムに登録した学生のうち、
成績優秀者は、通常より１年早く法学部の学位を取得して、
大学院に進学することができます。

早期卒業制度は
2019年度入学者から始まり、
2023年には、7名の学生が
この制度により早期卒業しました。

Point　学部入学から大学院修了までの時間・授業料負担が１年分軽減されます。

Point　学部在学中に大学院の授業を早期履修できます。

	大学入学	1年	2年	3年	4年	5年	6年
通常	学部4年				大学院2年		学部入学から６年で法務博士or修士修得
早期卒業制度	学部3年 法曹養成プログラム or 大学院進学プログラム			大学院2年		5年で法務博士or修士まで修得	

早期卒業

法科大学院を経由して法曹になる最短ルート

法曹を志す人には、北海道大学法科大学院と連携した
一貫教育のための法曹養成プログラムがあります。

法曹養成プログラムに登録して早期卒業し、在学中に司法試験を受験すると、
最短で大学入学から約６年後に法曹資格を取得できます。
※このほかに、司法試験予備試験に合格して司法試験を受験する制度があります。

	大学入学	1年	2年	3年	4年	5年	6年
法曹養成プログラムで早期卒業＋在学中受験	学部3年 法曹養成プログラム			法科大学院2年	在学中に司法試験受験※	司法修習	最短6年で法曹に

早期卒業

※一定の条件を満たすと、在学中受験が認められます。
法曹養成プログラム出身者以外の人も、在学中受験が可能です。

早期卒業制度利用者の声

北海道 札幌北高等学校 出身
2023年卒業
北海道大学法科大学院に進学

山下 智史さん

早期卒業制度を利用した理由は、在学期間を短縮して学費負担を軽減するとともに、早い時期から司法試験に挑戦したいと考えたからです。そこで、私は総合文系所属の１年次に身についた学習習慣を絶やさぬよう、法学部に移行した２年次以降も講義の予復習を継続するとともに、実定法のゼミを活用して論点の理解を深めるよう努めました。

法科大学院進学後は、早期卒業生の名に恥じぬようにという意識から、より緊張感を持って学習に取り組んでいます。将来は地元北海道に貢献できる、地域に根ざした弁護士として活動したいと考えています。

茨城県 清真学園高等学校・中学校 出身
2022年卒業
北海道大学公共政策大学院に進学

網敷 千時さん

入学後、可能性があればと思い、大学院進学プログラムに登録しました。当初は長期留学をえていたのですが、コロナ禍で留学や海外インターンシップは全て中止。何をしようかと思ったときに以前から関心のあった大学院への進学を決心し、情報集めを始めました。特に大学院入試については、学部入試と比べて情報が少なかったので、先生方や先輩方に積極的にコンタクトを取って相談しました。３年次終了時に学部の授業の履修をほぼ終えている人が多い中、大学院での１年間はとても有意義な時間だと感じています。将来は大学院で学んだことを生かし、国家公務員として日本を支える存在になることが目標です。

卒業生からのメッセージ

弁護士（日本・ニューヨーク州・カリフォルニア州、三浦法律事務所）
OnBoard株式会社CEO
元大津市長

2000年卒業

越 直美 さん

Boys, be ambitious. Girls, be more ambitious.

私は、20年以上前に北大を卒業しました。北大時代を思い出すと、とても恵まれた環境で勉強ができました。北大法学部の特徴として、先生方との距離が近いことがあります。私は、いくつもゼミをとっていたので、先生方に直接質問したりご指導いただいたりして、法律の論点や判例について掘り下げて考えることができました。法律の面白さを教えてくれたのは、北大法学部でした。大学院のときに司法試験に合格しましたが、先生方のご指導がなければ、とても合格することはできず、今も感謝の気持ちでいっぱいです。

大学院修了後、東京の西村あさひ法律事務所で弁護士として企業法務に携わり、ハーバード大学ロースクールに留学しました。ボストンの冬は寒く、北大の図書館やゼミ室で勉強した日々を思い出しました。キャンパスが美しく、そして冬が寒いという環境は、実は、とても勉強に集中できる環境です。

2012年、女性が仕事か子育てか選ばなければならない社会を変えたいと思い、出身地である大津市の市長に立候補しました。2期8年間、当時最年少の女性市長として、待機児童ゼロや人口増加を実現しました。現在は、東京の三浦法律事務所でスタートアップや公民連携の支援をしながら、女性役員を育成・紹介するOnBoard株式会社を経営しています。北大在学中は、全く想像していなかった未来ですが、北大法学部に進学したからこその道程であったと思います。

Boys, be ambitious. その言葉は、常に、私の心の中にあります。そして、北大は、女性にとっても、未来を切り開く力を与えてくれる場所です。

Girls, be more ambitious.

在学時に興味を持って学習した科目は?	学生時代、勉強以外に取り組んだことは?	北大法学部を一言で表現すると?
民法、知的財産法	キャンパスの散策	先生方との距離が近い

三菱商事株式会社　法務部

2017年卒業

今井 駿司 さん

法律を武器に、北大法学部から世界に羽ばたく

私は、北海道大学法学部卒業後に大学院法学研究科修士課程に進学し、6年間北大で学びました。現在は、三菱商事の法務部に所属し、三菱商事が行う世界各国でのビジネスに関する法的分析・検討、契約書の作成、契約交渉、訴訟対応といった業務を担っています。法務の仕事は、ビジネスの企画・立案段階から営業部と一緒に取引のストラクチャーや契約条件を練ったり、ビジネスパートナーとの契約交渉に参加したりするなどして営業部を支援する側面と、会社として取れるリスクか否かを判断し、取るべきでないリスクを取らないように営業部を牽制する側面の両面があり、そのバランスを常々考えながら取り組む必要があるのが難しさであると同時に、醍醐味だと感じています。

私が北大法学部で熱心に取り組んだものの1つは、学部4年次の時に参加したジェサップ国際法模擬裁判大会です。同大会では国連の司法機関である国際司法裁判所を模し、参加者は大学毎にチームを組み、国際紛争を想定して、英語による申述書の作成および口頭弁論の2部構成で原告・被告の両方の立場から国際法に基づく主張を展開します。先生やコーチの助けを得ながら、仲間と夜遅くまで議論を戦わせたことや締切直前まで申述書を直し続けたこと、大会が終わった後の達成感を分かち合った瞬間、どれもがよい思い出です。

さらに振り返って思うのは、授業や研究活動を通じて得た知識や経験はもちろんですが、在学中の恩師や友人との出会いやその後のつながりもそれ以上にかけがえのないものであるということです。北大法学部には皆さんが挑戦できるチャンスが溢れています。ぜひ北大法学部に入学して、たくさんのチャレンジをして、同じ志を持つ仲間と出会い、素敵な学生生活を送ってみませんか。

在学時に興味を持って学習した科目は?	学生時代、勉強以外に取り組んだことは?	北大法学部を一言で表現すると?
国際法	サークル活動（映画祭運営）	挑戦と成長の機会の宝庫

財務省主計局（採用区分：本省総合職）

2022年卒業

清水 智貴 さん

国家公務員として、日本の将来像を描き、実現する

まず、志望校を考えられている皆様には「大学入学はゴールではなく、将来への過程である」ということをお伝えしたいと思います。

「将来が心配される日本をより良くするために働きたい」と漠然と思って入学した私ですが、授業はオンライン化、留学は延期の後中止、部活動は制限され、将来に向けた過程である大学生活が大きく揺るがされるコロナ世代を経験することとなりました。このような厳しい時代にあっても、初心を忘れず、財務省に入省できたのは、北大という環境において幅広い選択肢・かけがえのない素晴らしい先生方との出会いがあったからといっても過言ではありません。

外交関係の仕事に興味を持っていた私は、国内法に加えて、学びを将来につなげるきっかけになると考え、2年次後期から国際法を受講したことを皮切りに、3年次前期には国際法演習、後期にはジェサップ国際法模擬裁判大会ゼミに参加しました。これが、国際法の先生や志を同じくする法学部の仲間との出会いの始まりとなり、国際法の知見に留まらず、留学に関するアドバイス、ひいては将来の進路について、さまざまな示唆をいただきました。特に、先生から「憧れのある職場を選ぶのはいいが、そこで何をしたいかのビジョンはあるのか」と問いかけられたことは、私の人生に大きな影響を与えています。

現在の職場は決して楽ではありませんし、思考が短絡的になることもありますが、何をやりたいのか精査した上で進路を選択できたことにより、初心を見失わずに日々精進することができています。

このように、かけがえのない出会いと、さまざまな選択肢が用意されている北大法学部で学んでみてはいかがでしょうか。

在学時に興味を持って学習した科目は?	学生時代、勉強以外に取り組んだことは?	北大法学部を一言で表現すると?
国際法、憲法、民法、ジェサップ（Jessup）国際法模擬裁判大会ゼミ	部活動（硬式テニス部）、北海道各所でのヒアリング	初心を思い出させ、自分を前に進めてくれる場所

北海道電力ネットワーク株式会社　託送サービスセンター高圧グループ

2019年卒業

河内 慶太 さん

北大法学部で学んだことを糧に、北海道に貢献する

私は、北大で法学部を卒業後、公共政策大学院に進学し、現在は北海道電力ネットワーク株式会社の託送サービスセンター高圧グループに勤務しています。2020年の発送電分離により、発電し売電する北海道電力株式会社と、送電する北海道電力ネットワーク株式会社に分社化し、私は送電部門の一員として働いています。職場では難解な政府文書を読み解かなければならないことが多く、北大法学部で法学・政治学の文章を読んで議論した経験が活きていると、最近になって思うことがあります。

私は入学当初は法学部に入ったら司法試験を受けて、法曹になることが既定路線だと思っていました。しかし、いざ入学し、大学生活を送っていく中でその選択肢の多さに驚いたのを覚えています。

私は母校である高校が人口減のあおりを受けて統廃合されたことをきっかけに、社会問題に強く関心を持ち、公共政策大学院への進学を決めましたが、その他にも自分のやりたいこと、学びたいことを実現する環境が北大法学部には整っています。ゼミ（演習）や講義の選択肢が豊富なだけでなく、自由度が高いため、課外活動に力を入れることもできます。法学部での学びもさることながら、こうした自由な時間を通じて得た知見や交友関係も学生時代だけでなく、今に活きていると強く思います。

自由な時間を謳歌できることや、多様な選択肢があることが、北大法学部の良さだと思いますし、そこに集まってくる人たちも面白い人ばかりです。

大学や学部を選ぶことも大きな選択かと思いますが、北大法学部はさらなる選択肢を提供してくれる場だと思います。その過程で、道を切り拓いていくフロンティア精神もきっと培われるはずです。北海道大学で6年間を過ごした身として、自信をもっておすすめできる大学生活です。

在学時に興味を持って学習した科目は?	学生時代、勉強以外に取り組んだことは?	北大法学部を一言で表現すると?
国際法ゼミ	サークル活動（オーケストラにてチェロを演奏）	選択肢の宝庫

北海道大学 法学部

法学研究科・法学部教務担当

〒060-0809
北海道札幌市北区
北9条西7丁目
TEL 011-706-3120,3121
www.juris.hokudai.ac.jp

2023年7月 発行